

茶病虫害防除情報

【第 7 号】

令和 2 年 6 月 1 日

鹿児島県経済連・肥料農薬課

更新茶園の病虫害防除対策

今年の南九州地域の梅雨入りが 5 月 30 日に発表されました。二番茶の生産も早場産地から最盛期になってきましたが、厳しい市況などで今年も茶園の更新が多くみられます。更新は樹高調整や樹勢回復、来年茶の品質向上を目的に実施されますが、更新後の茶園管理は極めて重要で、再生芽の健全な生育と充実を図ることが最も大切です。

更新園は一時的に病虫害の発生源が減少しますが、生育初期は加害する芽・葉が少ないことや、新芽の生育期間が長いいため再生芽にチャノトリヒメコバエ、チャノキアザミウマ、チャノホリガ、カンザワハダニ、炭疽病、輪斑病、新梢枯死症などが発生しやすく、再生芽の生育・充実を損なうこととなりますので、その防除対策について紹介します。

★ 発生する病虫害と防除対策

更新園は更新の時期、更新の程度(中切り 深・浅刈り)、樹勢、天候などにより再生芽の生育時期や状態が異なりますので、芽の生育状況に対応した防除を行います。また、再生芽を摘採・製茶する予定の場合は薬剤の使用時期に十分注意する必要があります。

チャノトリヒメコバエ **チャノキアザミウマ**

更新園で被害影響が最も大きいです。再生芽の萌芽・生育初期に集中加害し、芽の生育、樹勢回復を著しく阻害します。萌芽から生育初期に残効の長い薬剤などで防除します。

チャノホリガ

再生芽の開葉期に産卵、潜葉期幼虫などを確認し、薬剤防除します。

カンザワハダニ

更新園では、この数年秋芽生育期の 8 月頃に一時的に多発し、再生芽や秋芽の被害がみられています。更新により一時的な天敵の減少や寄生する葉の減少などが原因のようで、注意が必要です。天敵に影響の少ない、全ステージに効く速効性の薬剤で防除します。

チャノコナジラミ

多発生園では、第 2 世代若齢幼虫発生期(6 月下～7 月上旬)に防除し、密度低下を図ります。

炭疽病 **新梢枯死症** **黒葉腐病**

更新後裾部などに残った伝染源病葉などから発生が増加していきます。再生芽の生育が梅雨期になりますので 1—3 葉期に予防剤などの薬剤で防除します。

輪斑病 (やぶきた園)

病原菌は枝や枯葉などにも残っており、再生芽の整枝時に感染しますので整枝直後に薬剤防除します。耐性菌などに配慮した薬剤選択は一般園と同様です。

☆ 更新園再生芽の病害虫薬剤防除法

病害虫	防除時期	防除薬剤	希釈倍数(倍)	使用基準
チャノミト [®] リヒメヨコハイ チャノキイロアザミ [®]	再生芽萌芽— 生育初期	スタークル顆粒水溶剤	2000	7日前 2回
		ウララ DF	1000~2000	7日前 1回
		ハチハチ乳剤	1000~1500	14日前 1回
		コルト顆粒水和剤	2000~3000	7日前 2回
		エクシセル SE	2000	7日前 1回
テッパ [®] ン液剤	1000	3日前 1回		
チャノソカ [®]	再生芽 I—2葉期	スタークル顆粒水溶剤	2000	7日前 2回
		サムコロフロアブル	2000~4000	3日前 1回
		ノーモルト乳剤	2000~4000	7日前 1回
		カスケート [®] 乳剤	4000	7日前 2回
		ファルコンフロアブル	4000~8000	7日前 2回
		エクシセル SE	2000	7日前 1回
テッパ [®] ン液剤	1000	3日前 1回		
カンザ [®] ワハダ [®] ニ	7月下—8月 秋芽生育期	ダニサラバ [®] フロアブル	1000~2000	7日前 2回
		ダニコング [®] フロアブル	2000~4000	7日前 1回
		マイトコーネフロアブル	1000	14日前 1回
		アグリメック	1000	7日前 1回
チャトグ [®] コナジ [®] ラミ	第2世代 若齢幼虫 発生期	アグリメック	1000	7日前 1回
		ディイナ SC	2500~5000	摘採前日 1回
		ハチハチ乳剤	1000	14日前 1回
		コテツフロアブル	2000	7日前 2回
炭疽病 新梢枯死症 黒葉腐病	再生芽 1—3葉期	ダコニール 1000	700~1000	10日前 1回
		ベフト [®] ー水和剤	500	14日前 2回
		フロンサイト [®] SC	2000	14日前 1回
輪斑病	再生芽 整枝3日後迄	カスミンホルト [®] ー	1000	30日前 1回
		アミスター 20 フロアブル	2000	14日前 3回
	整枝直後	ファンタジ [®] スタ顆粒水和剤	3000	7日前 1回
		ダコニール 1000	700~1000	10日前 1回
		フロンサイト [®] SC	2000	14日前 1回

備考① 更新園の薬剤防除時期は一般園と異なるので、摘採を行う一般園へのドリフトには十分留意する。

② 秋芽生育期に使用予定の薬剤は更新園再生芽への使用は避ける。

③ 輪斑病防除剤のカスミンホルト[®]ー、アミスター 20、ファンタジ[®]スタは整枝3日後まで有効である。